

(2) アンケート調査の実施方針

1. 調査の目的

- ・ 小山市の交通まちづくりの検討状況などを広く市民等に情報発信する
- ・ 沿線住民・企業等の交通行動の実態や高岳引込線の活用意向を把握
- ・ 高岳引込線沿線の地域イメージや将来像などを把握

2. 調査の対象

- ・ 高岳引込線沿線の住民・企業等を対象（調査に協力いただける方）
- ・ まちづくり関連のニーズを幅広く把握するため一般市民も対象

対 象	概 要		
沿線住民	駅東通り二丁目自治会 駅東通り三丁目自治会 城北自治会 鹿島向原自治会 泉崎自治会 土塔一自治会 犬塚自治会	中久喜自治会 除外自治会 竹親会自治会 丸山自治会 出井自治会 出井開拓自治会 出井下自治会	出井東自治会 泉ヶ丘自治会 小山東ニュータウン自治会 高岳自治会 高専宿舎自治会 西山自治会
沿線企業等	企 業	東京鋼鐵(株) (株)UACJ 押出加工 美濃工業栃木(株)	富士通(株) (株)東光高岳 イオン
	学 校	小山高専 白鷗大学東キャンパス	
市 民	一般市民		

3. 調査の内容

- ・ 沿線住民・企業等については、普段の交通行動および公共交通として高岳引込線を活用することを想定した場合の利用意向を調査
- ・ 沿線地域のまちづくり関連事項については、沿線住民・企業等、市民に調査

対 象	調査事項		
	個人属性	交通関連	まちづくり関連
沿線住民	居住地、性別、 年齢、職業、 運転免許の有無、 自動車の有無	○交通行動（日常）	○沿線地域の現状 ・ 地域の魅力 ・ 地域の懸案事項 ○期待する沿線地域の姿 ○今後必要と考える取り組み
		○公共交通としての高岳引込線の活用意向	
沿線企業等	居住地、性別、 年齢	○交通行動（通勤・通学）	
		○公共交通としての高岳引込線の活用意向	
市 民	居住地、性別、 年齢		

4. 調査の方法

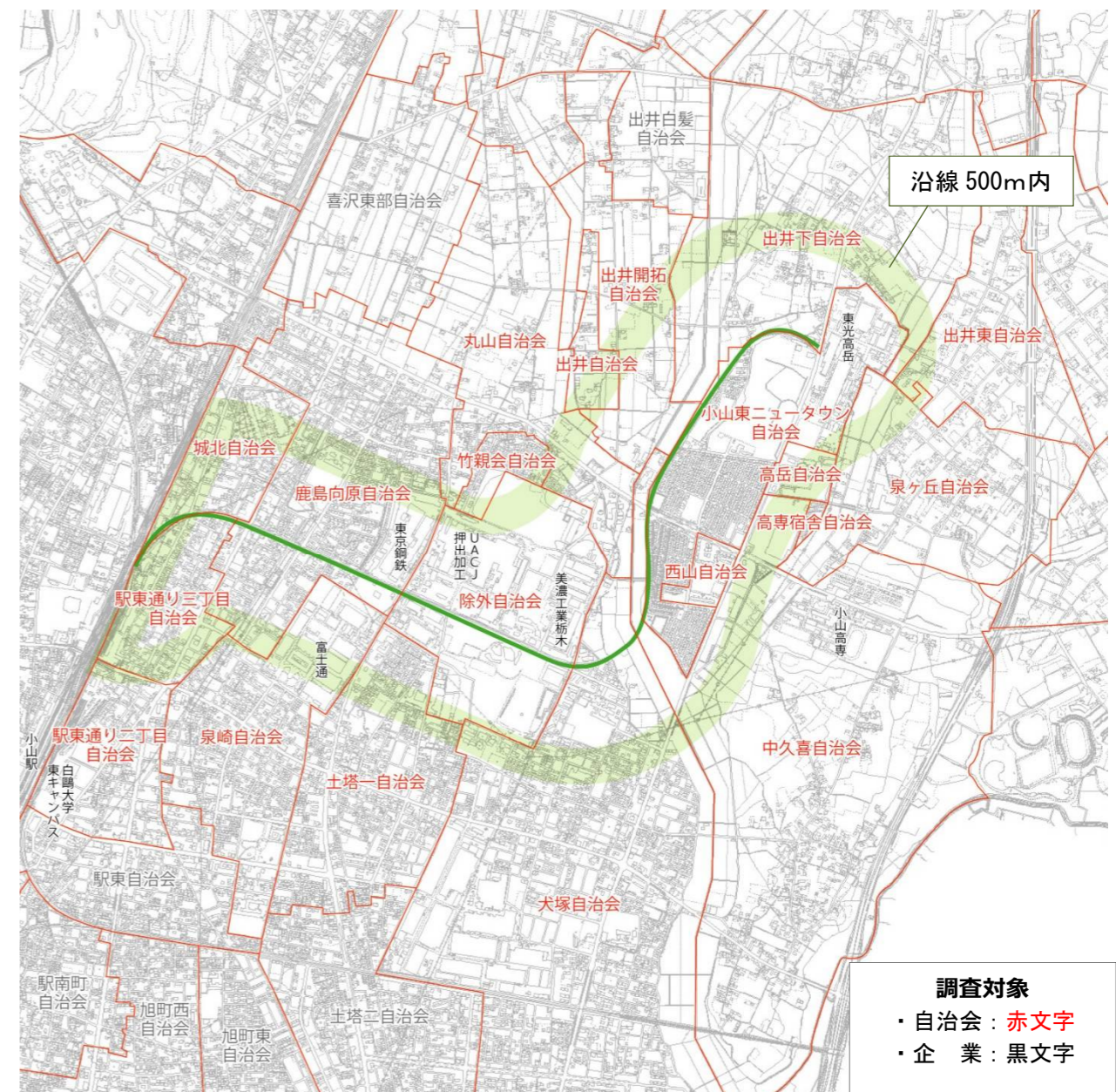
- ・ 自治会の協力を得て沿線住民に配布、回収は郵送
- ・ 企業等には代表窓口などを通じて配布・回収
- ・ 市民には、小山高専との連携協定業務において実施する。

対 象	配布	回収
沿線住民	自治会長等を通じて調査票等を住民に配布	市役所宛での封筒に調査票を入れてポストに投函
沿線企業	総務等の窓口を通じて調査票等を従業員等に配布、回収	
市 民	市のイベント等を利用して小山高専の学生により聞き取り、その場で回収	

5. 配布物

- ・ 依頼文
- ・ 高岳引込線の公共交通への活用と沿線まちづくりの検討について（説明用紙一別紙）
- ・ 調査票（自治会および企業等が判別できるように番号を付ける）
- ・ 返信用封筒（切手不要）

6. 調査の時期： 2016年8月頃を予定



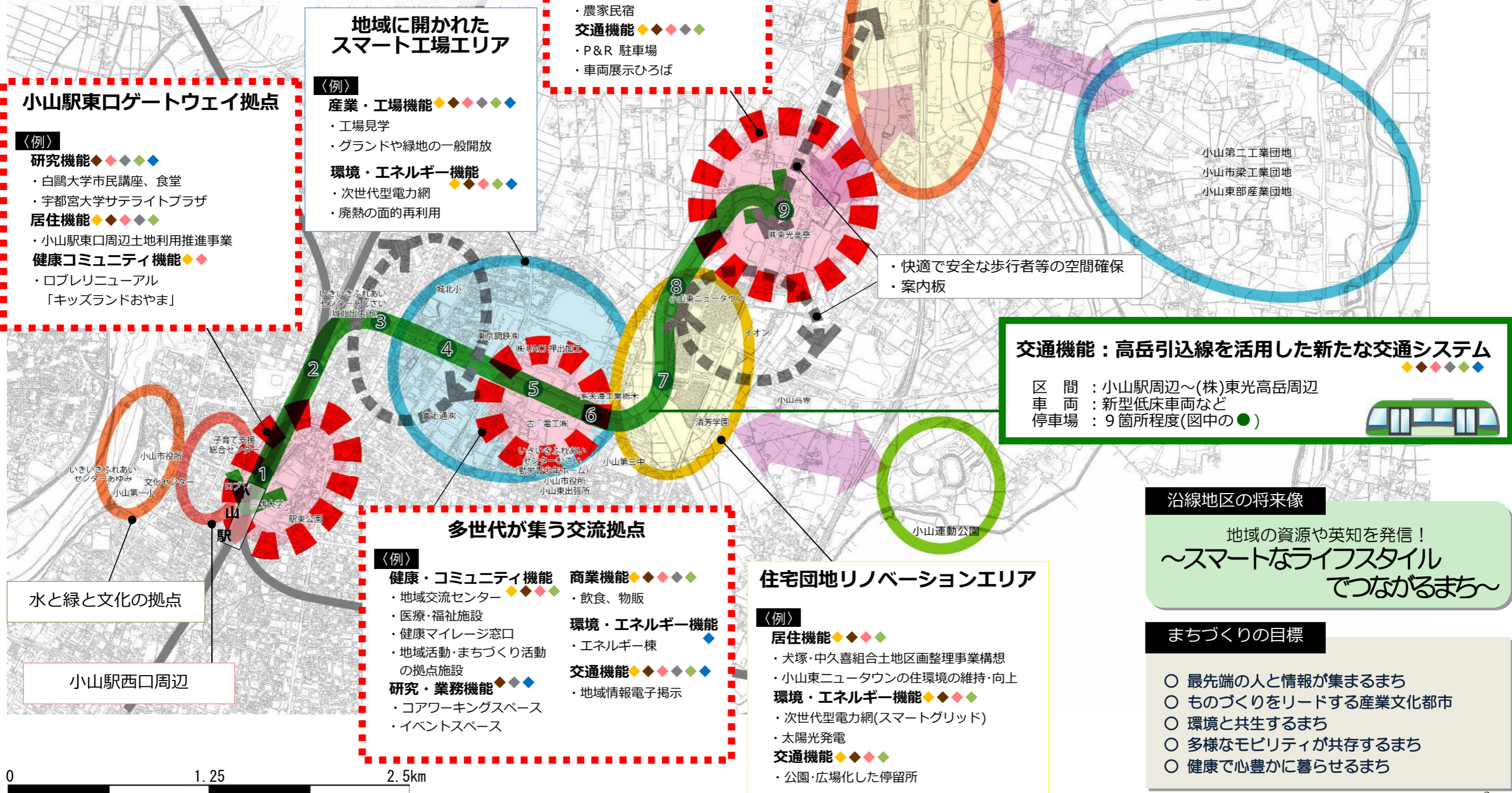
高岳引込線の公共交通への活用と沿線まちづくりの検討について

※導入機能・施設は、企業等へのヒアリングと検討委員会において、整備主体や法規にとらわれず自由に出していただいた提案によるものです。

小山市では、「第6次小山市総合計画」の基本計画に基づき、“住みたい・住続けられる人と企業を呼び込むプロジェクト”の実現を目指し、人や環境に優しい交通環境の整備や公共交通の利用促進などを重要な施策の一つに掲げています。

このような中、昨年度、「小山市まちづくりと新交通の導入に関する検討委員会」（以下、委員会）を設置し、(株)東光高岳が運行する貨物専用線である高岳引込線を活用した新たな交通システムを導入や沿線のまちづくりに関する方向性を検討してきました。本用紙は、昨年度の検討結果の概要を示したものです。

今年度も引き続き、委員会等の開催を継続し、産・官・学・民の協働による高岳引込線沿線のまちづくりの実現化方策や高岳引込線を活用した新たな交通システムの導入の可能性を検討していきます。



小山駅東口ゲートウェイ拠点

〈例〉

- 研究機能**
 - 白鷺大学市民講座、食堂
 - 宇都宮大学サテライトプラザ
- 居住機能**
 - 小山駅東口周辺土地利用推進事業
- 健康コミュニティ機能**
 - ロプレリニューアル「キッズランドおやま」

地域に開かれたスマート工場エリア

〈例〉

- 産業・工場機能**
 - 工場見学
 - グラウンドや緑地の一般開放
- 環境・エネルギー機能**
 - 次世代型電力網
 - 廃熱の面的再利用

都市と農の交流拠点

〈例〉

- 健康・コミュニティ機能**
 - 農園レストラン
 - 農家民宿
- 交通機能**
 - P&R 駐車場
 - 車両展示ひろば

新4号国道沿線 広域交流エリア

〈例〉

- 産業・工場機能**
 - 新規工業団地
- 健康・コミュニティ機能**
 - 農産物直売所（道の駅）
- 交通機能**
 - P&R 駐車場

想定する主な利用者（ターゲット）の凡例

- 子ども
- 学生・若者
- 主婦・子育て世代
- ビジネス・研究者
- 高齢者
- 企業・学校

交通機能：高岳引込線を活用した新たな交通システム

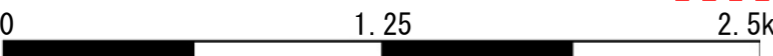
区間：小山駅周辺～(株)東光高岳周辺
 車両：新型低床車両など
 停車場：9箇所程度(図中の●)

沿線地区の将来像

地域の資源や英知を発信！
 ～スマートなライフスタイル
 でつながるまち～

まちづくりの目標

- 最先端の人と情報が集まるまち
- ものづくりをリードする産業文化都市
- 環境と共生するまち
- 多様なモビリティが共存するまち
- 健康で心豊かに暮らせるまち



高岳引込線の活用に関するアンケート調査のお願い

小山市では、現在、通称高岳引込線の既存ストックを有効に活かして、今後増加する高齢者や交通弱者への対応や公共交通の利用促進、さらには魅力ある沿線のまちづくりを目的として、その活用方策について所有者である(株)東光高岳様のご協力を得て検討を進めています。

そこで、より多くの市民の皆様ニーズに合った交通機関の実現を目指すため、ルート沿線にお住まいの方を対象に、日常の交通行動や地域のまちづくりに関する期待などを把握するためのアンケート調査を実施しています。

調査結果は統計的に処理し、本調査の目的以外は使用いたしませんので、回答者の方にご迷惑をお掛けすることは一切ございません。

つきましては、調査の趣旨をご理解の上、アンケート調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

〔お願い〕

- ◆アンケート票は同じものが**5部**同封されています。
- ◆ご家族のうち、15歳以上の方にご回答をお願いします。
- ◆回答はアンケート票に直接ご記入いただき、ポストに投函をお願いします。

— お問い合わせ先 —

小山市 都市整備部 都市計画課 新交通システム担当

電話 0285-22-9230（直通）

問1. 高岳引込線の沿線地域について、お聞きします。

(1) 地域の魅力は何だと思いますか。主なものを1つだけ選んでください。

- | | |
|-----------------------------|------------------|
| 1 小山駅に近く利便性がよい | 2 田んぼなどの緑が豊か |
| 3 診療所などが近くにある安心できる | 4 イオンに近く買い物などが便利 |
| 5 白鷗大学東キャンパスや小山高専などの研究機関が立地 | |
| 6 ものづくりの工場や企業が集まる | |
| 7 その他具体的に () | |

(2) どのようなことが課題だと思いますか。主なものを1つだけ選んでください。

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1 人口減少や住民の高齢化 | 2 耕作放棄地の増加 |
| 3 住宅の老朽化や空き家の発生 | 4 地域コミュニティの希薄化 |
| 5 高岳引込線による地域分断による生活不便 | |
| 6 歩いて楽しめるまちの魅力に欠ける | |
| 7 その他具体的に () | |

(3) 今後どのような地域の姿を思い描きますか。主なものを1つだけ選んでください。

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1 最先端の人と情報が集まるまち | 2 ものづくりをリードする産業文化都市 |
| 3 環境と共生するまち | 4 過渡に自動車に頼らないライフスタイルのまち |
| 5 健康で心豊かに暮らせるまち | |
| 7 その他具体的に () | |

(4) 今後どのような取り組みが必要だと思いますか。最大3つまで選んでください。

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1 住環境の維持・向上 | 2 子育て世代が集まれる場所づくり |
| 3 高齢者の居場所づくり | 4 多世代が交流できる場の確保 |
| 5 健康づくりの拠点の確保 | 6 地域内の公共交通の充実 |
| 7 飲食や物販などの商業施設の誘致 | 8 緑豊かな環境を活かしたまちづくり |
| 9 再生可能エネルギーの地産地消 | 10 徒歩や自転車でまちを巡られる環境づくり |
| 11 研究・業務機能のPRと拡充 | 12 地域に開かれた工場づくり |
| 13 住民や企業・学生等のまちづくり活動への参加 | |
| 14 その他具体的に () | |

問2. あなたの普段の外出について、お聞きします。

設問ごとに平日・休日それぞれに○をつけてください。

平日

休日（土・日・祝日）

(1) 自宅からの主な外出目的は何ですか。

- | |
|-----------|
| 1 通勤 |
| 2 通学 |
| 3 仕事 |
| 4 買物 |
| 5 通院・見舞い |
| 6 娯楽・レジャー |
| 7 その他私用 |

- | |
|-----------|
| 1 通勤 |
| 2 通学 |
| 3 仕事 |
| 4 買物 |
| 5 通院・見舞い |
| 6 娯楽・レジャー |
| 7 その他私用 |

(2) それはどの程度の頻度ですか。

- | |
|----------|
| 1 ほぼ毎日 |
| 2 週に2,3日 |
| 3 週に1日 |
| 4 月に2,3日 |
| 5 月に1日 |
| 6 それ以下 |

- | |
|-----------|
| 1 ほぼ毎週 |
| 2 2,3週に1日 |
| 3 月に1日 |
| 4 それ以下 |

(3) その時の主な交通手段は何ですか。

- 1 鉄道
⇒利用駅 () 駅
⇒駅までの交通手段
- | |
|--------------|
| 1 循環バス |
| 2 その他のバス |
| 3 自動車（自分で運転） |
| 4 自動車（送迎、同乗） |
| 5 バイク |
| 6 自転車 |
| 7 徒歩 |
- 2 循環バス
- 3 その他のバス
- 4 自動車（自分で運転）
- 5 自動車（送迎、同乗）
- 6 バイク
- 7 自転車
- 8 徒歩

- 1 鉄道
⇒利用駅 () 駅
⇒駅までの交通手段
- | |
|--------------|
| 1 循環バス |
| 2 その他のバス |
| 3 自動車（自分で運転） |
| 4 自動車（送迎、同乗） |
| 5 バイク |
| 6 自転車 |
| 7 徒歩 |
- 2 循環バス
- 3 その他のバス
- 4 自動車（自分で運転）
- 5 自動車（送迎、同乗）
- 6 バイク
- 7 自転車
- 8 徒歩

(4) その時の主な行き先（目的地）はどこですか。

- 1 小山市内
() 町 () 丁目
住所が不明の場合、目標物をご記入ください。
()
- 2 小山市以外
() 市町村

- 1 小山市内
() 町 () 丁目
住所が不明の場合、目標物をご記入ください。
()
- 2 小山市以外
() 市町村

問 3.（通称）高岳引込線について、お聞きします。

(1) 高岳引込線を公共交通として活用することが実現した場合、あなたは利用しますか。

運行イメージ (現時点の想定) 運賃：200円/回 運行本数：1～3本/1時間
 運行時間：5時～22時
 停留所：9か所程度（位置はA3版の「別紙」を参照ください）

1 利用する 2 利用しない

利用すると答えた方は(2)、利用しないと答えた方は(3)にお答えください。

(2) -1 利用する場合、どの停留所間を主に利用しますか。

注) A3版の「別紙」の図中の停留所番号をご記入ください。

乗車【 】番 → 降車【 】番

(2) -2 ご利用の頻度はいかがですか。1つだけ選んでください。

1 ほぼ毎日利用 2 週に2,3日利用 3 週に1日利用
 4 月に2,3日利用 5 月に1日利用 6 それ以下

(2) -3 どんなときに、利用しますか。1つだけ選んでください。

1 普段の外出で利用する 2 いつもの交通手段が使えないとき
 3 その他具体的に ()

(2) -4 どんな目的で利用しますか。主なものを複数選んでください。

1 通勤 2 通学 3 仕事 4 買物 5 通院・見舞い
 6 娯楽・レジャー 7 その他具体的に ()

(3) どんな条件であれば利用しますか。あてはまるものを選んでください。

1 運賃が安い 2 ルートの延伸 3 運行本数が多い
 4 運行時間帯が長い 5 車両空間が快適
 6 停留所が多い（便利な位置にある）
 7 沿線に新たな施設や活動拠点ができる
 8 今利用している交通手段よりも便利
 9 その他具体的に ()
 10 条件に関わらず利用しない

問 4. 最後に、あなたご自身のことについて、お聞きします。

お住まい	() 町 () 丁目		
性別	1 男性	2 女性	
年齢	1 15～19歳	2 20～29歳	3 30～39歳
	4 40～49歳	5 50～59歳	6 60～64歳
	7 65～74歳	8 75～84歳	9 85歳以上
職業	1 会社員・公務員	2 自営業	3 パート・アルバイト
	4 主婦・家事手伝い	5 学生	6 無職 7 その他
お持ちの運転免許	1 普通自動車免許	2 二輪車・原付のみ	3 免許なし
自由に使える自動車の有無	1 ほぼ自由に使える車がある	2 家族共有の車がある	3 ない

ご協力ありがとうございました。

高岳引込線の活用に関するアンケート調査のお願い

小山市では、現在、通称高岳引込線の既存ストックを有効に活かして、今後増加する高齢者や交通弱者への対応や公共交通の利用促進、さらには魅力ある沿線のまちづくりを目的として、その活用方策について所有者である東光高岳のご協力を得て検討を進めています。

そこで、より多くの市民の皆様のニーズに合った交通機関の実現を目指すため、ルート沿線の事業所従業員や小山高等専門学校、白鷗大学を対象に、日常の交通行動や地域のまちづくりに関する期待などを把握するためのアンケート調査を実施しています。

調査結果は統計的に処理し、本調査の目的以外は使用いたしませんので、回答者の方にご迷惑をお掛けすることは一切ございません。

つきましては、調査の趣旨をご理解の上、アンケート調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

— お問い合わせ先 —

小山市 都市整備部 都市計画課 新交通システム担当

電話 0285-22-9230（直通）

問1. 高岳引込線の沿線地域について、お聞きします。

(1) 地域の魅力は何だと思いますか。主なものを1つだけ選んでください。

- | | |
|-----------------------------|------------------|
| 1 小山駅に近く利便性がよい | 2 田んぼなどの緑が豊か |
| 3 診療所などが近くあって安心できる | 4 イオンに近く買い物などが便利 |
| 5 白鷗大学東キャンパスや小山高専などの研究機関が立地 | |
| 6 ものづくりの工場や企業が集まる | |
| 7 その他具体的に () | |

(2) どのようなことが課題だと思いますか。主なものを1つだけ選んでください。

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1 人口減少や住民の高齢化 | 2 耕作放棄地の増加 |
| 3 住宅の老朽化や空き家の発生 | 4 地域コミュニティの希薄化 |
| 5 高岳引込線による地域分断による生活不便 | |
| 6 歩いて楽しめるまちの魅力に欠ける | |
| 7 その他具体的に () | |

(3) どのような地域の将来像を思い描きますか。主なものを1つだけ選んでください。

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1 最先端の人と情報が集まるまち | 2 ものづくりをリードする産業文化都市 |
| 3 環境と共生するまち | 4 過渡に自動車に頼らないライフスタイルのまち |
| 5 健康で心豊かに暮らせるまち | |
| 7 その他具体的に () | |

(4) 今後どのような取り組みが必要だと思いますか。最大3つまで選んでください。

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1 住環境の維持・向上 | 2 子育て世代が集まれる場所づくり |
| 3 高齢者の居場所づくり | 4 多世代が交流できる場の確保 |
| 5 健康づくりの拠点の確保 | 6 地域内の公共交通の充実 |
| 7 飲食や物販などの商業施設の誘致 | 8 緑豊かな環境を活かしたまちづくり |
| 9 再生可能エネルギーの地産地消 | 10 徒歩や自転車でまちを巡られる環境づくり |
| 11 研究・業務機能のPRと拡充 | 12 地域に開かれた工場づくり |
| 13 住民や企業・学生等のまちづくり活動への参加 | |
| 14 その他具体的に () | |

問2. あなたのお住まいなどについて、お聞きします。

お住まい	() 町 () 丁目		
性別	1 男性	2 女性	
年齢	1 15～19歳	2 20～29歳	3 30～39歳
	4 40～49歳	5 50～59歳	6 60～64歳
	7 65～74歳	8 75～84歳	9 85歳以上

問3. あなたの通勤（通学）行動について、お聞きします。

(1) 始業時刻は決まっていますか。

- | | |
|-------------------|------------|
| 1 決まっている。【 】時【 】分 | 2 決まっていない。 |
|-------------------|------------|

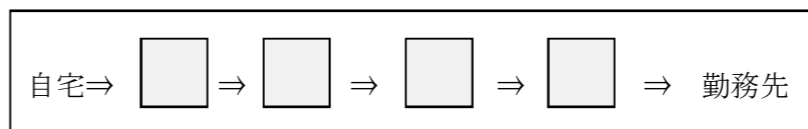
(2) 出勤（登校）時刻は何時頃ですか。

注) 始業時刻が複数の場合は、午前出勤（登校）日のことをご記入ください。

【 】時【 】分頃に事業所（学校）に到着

(3) 通勤（通学）の交通手段は何ですか。

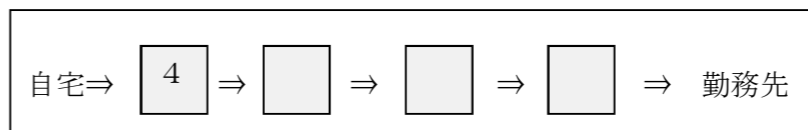
注) 複数の交通手段を利用して通勤（通学）されている方は、利用順にお書きください。



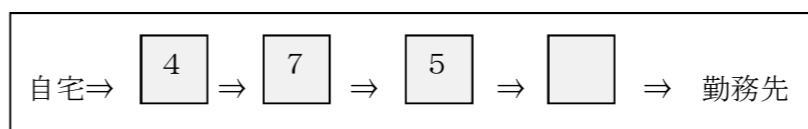
交通手段

1. 徒歩
2. 自転車
3. オートバイ
4. 自動車
5. 路線バス
6. 企業バス

記入例1) 自宅からマイカーで通勤している方



記入例2) 自宅からマイカーで鉄道駅に行き、鉄道駅から小山駅に行き、路線バスで通勤している方



問4.（通称）高岳引込線について、お聞きします。

(1) 高岳引込線を公共交通として活用することが実現した場合、あなたは利用しますか。

（運行イメージ
（現時点の想定）

運賃：200円/回
運行時間：5時～22時
運行本数：1～3本/1時間
停留所：9か所程度（位置はA3版の「別紙」を参照ください）

1 利用する 2 利用しない

利用すると答えた方は(2)、利用しないと答えた方は(3)にお答えください。

(2) -1 利用する場合、どの停留所間を主に利用しますか。

注) A3版の「別紙」の図中の停留所番号をご記入ください。

乗車【 】番 → 降車【 】番

(2) -2 ご利用の頻度はいかがですか。1つだけ選んでください。

1 ほぼ毎日利用 2 週に2,3日利用 3 週に1日利用
4 月に2,3日利用 5 月に1日利用 6 それ以下

(2) -3 どんなときに、利用しますか。1つだけ選んでください。

1 普段の外出で利用する 2 いつもの交通手段が使えないとき
3 その他具体的に（ ）

(2) -4 どんな目的で利用しますか。主なものを複数選んでください。

1 通勤 2 通学 3 仕事 4 買物 5 通院・見舞い
6 娯楽・レジャー 7 その他具体的に（ ）

(3) どんな条件であれば利用しますか。あてはまるものを選んでください。

1 運賃が安い 2 ルートの延伸 3 運行本数が多い
4 運行時間帯が長い 5 車両空間が快適
6 停留所が多い（便利な位置にある）
7 沿線に新たな施設や活動拠点ができる
8 今利用している交通手段よりも便利
9 その他具体的に（ ）
10 条件に関わらず利用しない

ご協力ありがとうございました。

問1. 高岳引込線[※]の沿線地域について、お聞きします。

※高岳引込線については「別紙」を参照ください。

(1) 地域の魅力は何だと思えますか。主なものを1つだけ選んでください。

- | | |
|-----------------------------|------------------|
| 1 小山駅に近く利便性がよい | 2 田んぼなどの緑が豊か |
| 3 診療所などが近くにあって安心できる | 4 イオンに近く買い物などが便利 |
| 5 白鷗大学東キャンパスや小山高専などの研究機関が立地 | |
| 6 ものづくりの工場や企業が集まる | |
| 7 その他具体的に () | |

(2) どのようなことが地域の課題だと思えますか。主なものを1つだけ選んでください。

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1 人口減少や住民の高齢化 | 2 耕作放棄地の増加 |
| 3 住宅の老朽化や空き家の発生 | 4 地域コミュニティの希薄化 |
| 5 高岳引込線による地域分断による生活不便 | |
| 6 歩いて楽しめるまちの魅力に欠ける | |
| 7 その他具体的に () | |

(3) どのような地域の将来像を思い描きますか。主なものを1つだけ選んでください。

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1 最先端の人と情報が集まるまち | 2 ものづくりをリードする産業文化都市 |
| 3 環境と共生するまち | 4 過渡に自動車に頼らないライフスタイルのまち |
| 5 健康で心豊かに暮らせるまち | |
| 7 その他具体的に () | |

(4) 今後どのような取り組みが必要と思えますか。最大3つまで選んでください。

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1 住環境の維持・向上 | 2 子育て世代が集まれる場所づくり |
| 3 高齢者の居場所づくり | 4 多世代が交流できる場の確保 |
| 5 健康づくりの拠点の確保 | 6 地域内の公共交通の充実 |
| 7 飲食や物販などの商業施設の誘致 | 8 緑豊かな環境を活かしたまちづくり |
| 9 再生可能エネルギーの地産地消 | 10 徒歩や自転車でまちを巡られる環境づくり |
| 11 研究・業務機能のPRと拡充 | 12 地域に開かれた工場づくり |
| 13 住民や企業・学生等のまちづくり活動への参加 | |
| 14 その他具体的に () | |

問2. 最後に、あなたご自身のことについて、お聞きします。

お住まい	() 町 () 丁目
性別	1 男性 2 女性
年齢	1 15～19 歳 2 20～29 歳 3 30～39 歳
	4 40～49 歳 5 50～59 歳 6 60～64 歳
	7 65～74 歳 8 75～84 歳 9 85 歳以上

ご協力ありがとうございました。